

小林天龍 てんりゅう、新聞記者、漢詩人。慶應二年六月一日信濃國飯田生
れ、明治四十一年二月十七日歿（八六—一九〇八）。諱慶、字雲卿、通稱
慶（一）次郎。別號二十八宿外史、天龍漁史、天龍生、少女、少女庵、
蕭堂、盛氣樓主人等。漢詩を羽生科山に學ぶ。明治十八年上京して附
治法律學校入學も、中退して操觚界に入る。『山形日報』記者を経て、
二十五年朝報社入社。社長黒岩泮香と跋を親しく、同郷の友人に辯護
士今村力三郎をかゝた。

著書 『東北 西南探涼案内』（合著—萬朝報探涼軍記者・片山友彦編、明治
二十四年七月十八日博文館）、『天龍漁史詩稿』全二冊（大正四年二
月十五日今村力三郎刊）等。